

センターだより

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

第9号

平成30(2018)年2月15日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール seduc@city.suita.osaka.jp

平成29年度 吹田市立教育センター 教育研究報告会 御礼

平成30年1月24日(水)に夢つながり未来館 ゆいぴあにて、吹田市立教育センター 教育研究報告会を実施し、各学校・園から220名の教職員の参加がありました。

3つの分科会において、各学校・園や小学校教育研究会、そして教育センターの研究グループなど、合計12の団体から、実践や研究の成果を報告いただきました。

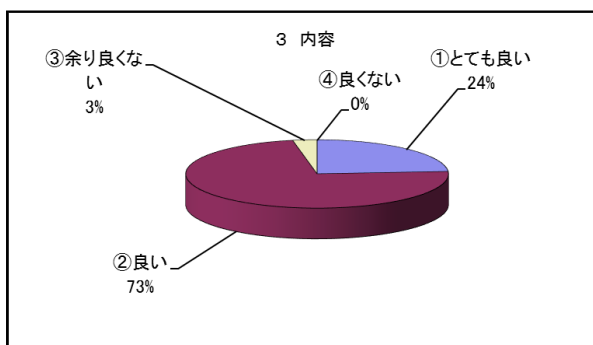


報告いただきました各団体におかれましては、発表の準備や資料の作成等、御協力いただきありがとうございました。また、当日の運営スタッフとして御助力いただいた先生方にも感謝申し上げます。

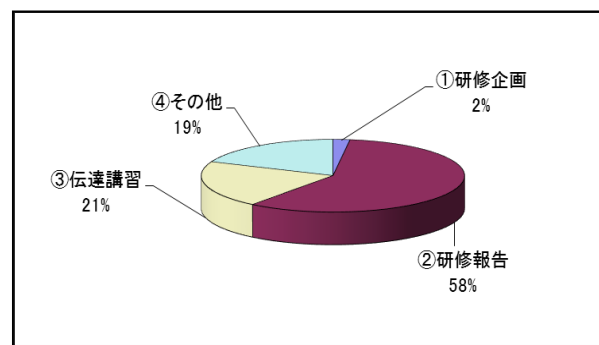
この報告会で発信いただきました研究成果を参加された教職員の方々を中心に、各学校・園で共有し、未来の吹田の教育に反映できるよう、よろしくお願いいたします。

〈教育研究報告会アンケートより〉

★本日の報告会の内容はどうでしたか



★この報告会の事後活用について



★今日の報告会の学び・感想等

アンケートの結果では、「とても良い」、「良い」合わせて97%以上の教職員から発表内容が良いとの回答をいただきました。

- ・どの報告も、柱をしっかり持って研究を進めてこられた結果がでていると感じました。とても刺激になりました。
- ・他校種や、他教科の実践を聞くことができ、大変参考になりました。どの報告も、子供の学びにつながる報告で、今後の指導に役立ちそうです。
- ・新しいICT機器を活用した授業の可能性は大きいと感じました。使い方を工夫し、それを他の教職員にも広めて充実させていきたいです。
- ・校内研修において、小・中連携で取組むべきことのヒントをもらえました。自校の学校の研究を見直すいい機会となりました。
- ・どの発表もとても勉強になりました。ただ、より学びを深めるためには、発表毎に質疑応答をしたり参加会場を変えたりできるとありがたいです。

指導者英語力スキルアップ研修 OEV (オオサカイングリッシュビレッジ)

A日程 基礎編：11/14 応用編：12/5

B日程 基礎編：1/11 応用編：1/18

今年度の英語集中講座は、オオサカイングリッシュビレッジにて実施しました。
これまでも教員の英語力向上を目的とした研修は行われてきましたが、今回の講座は、教育センターから外に出て、「英語に囲まれた」空間の中での研修としました。

研修のポイントは、

- (1) 英語にたくさんふれて、まずは英語を楽しもう。
- (2) 子供の立場になってみて、英語で考えたり、表現したりしよう。
- (3) 外国語活動の授業のヒントを少しでもつかもう。

の3つでした。

ネイティブスピーカーの英語に、最初は戸惑い気味の先生方でしたが、易しい英語に置き換えて話したり、どうしても必要な時は日本語を交えて研修を進めてくださったりする講師の心配りに安心し、「盛り上げ役」の先生方の活躍もあって、徐々に打ち解けて笑顔が広がってきました。

自己紹介、発音練習、アクティビティ、絵本による授業づくりから、「AET」という場面に出合ったらどうする？」という、実際に想定されるシチュエーションのロールプレイまで、英語にどっぷりつきながら、時にはじっくり考え、時には大いに盛り上がり、充実した研修となりました。

「生（なま）の英語にこんなにたくさんふれる機会はあまりないので、貴重な時間になりました。」

「ペアでの英語のやり取りは、失敗してもいいのだと思え、気軽に英語で表現できました。」

「絵本による活動を他校の先生と考えたり、アイデアを交流できたりして楽しかった。」

等の感想からも、今回の研修の3つのポイントをしっかりつかめたことがうかがえました。



特別支援教育事例検討研修「行動領域」

講師 神戸親和女子大学 森田安徳先生

2月5日(月) 吹田市立教育センター

神戸親和女子大学の森田安徳先生を講師としてお招きし、行動面に課題がある中学生への支援について学ぶ事例検討研修を実施しました。

今回は、市内中学校2年生の生徒の事例について検討しました。事例を通して、幼・小・中の連携の大事さや、子供の課題の捉え方、進路をふまえた今後の指導方針等、短い時間の中でも、たくさんの学びが詰まった研修となりました。

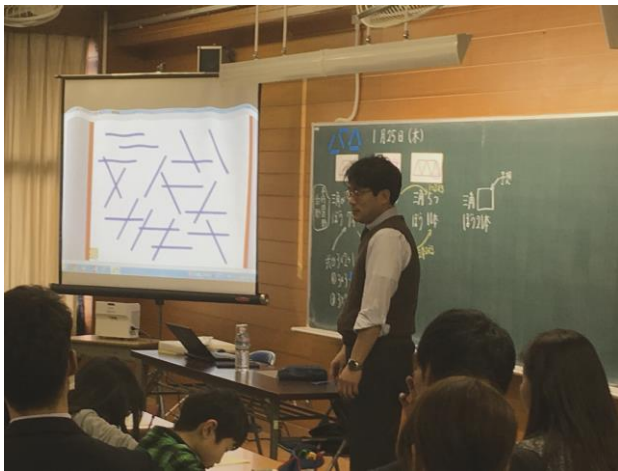
受講後の感想には、「個々の子供の姿をきちんととらえ、課題やつまづきを理解することの大切さがよく分かりました。」「事例検討研修を受講するたびに、課題等の一部分だけでなく、全体（できている部分も含め）を見渡して考えることの大切さに気付かされます。」などがありました。

事例検討研修は、より具体的な指導を学ぶことができます。今回は中学生の事例でしたが、この研修での学びは、幼稚園や小学校でも生かせるものです。来年度も事例検討研修を計画しておりますので、ぜひ多くの教職員の参加をお待ちしております。また、事例提供についても御協力をお願いします。

平成29年度 吹田市教育委員会 委嘱研究学校 佐竹台小学校の研究に学ぶ

本年度より委嘱研究学校となった佐竹台小学校は、ICT を活用した授業の可能性を追求する～子どもが「考えたい」「伝えたい」と思える授業づくり～をテーマに研究を進めています。教職員が同じ教材を用いての講師との授業対決を実施するなど、実践力を磨く授業力向上を図るための研究体制も印象的です。

学力向上部会を担当する先生に校内研究活動についてお話をうかがうと、「子供の考えたい、伝えたいを引き出し、それに寄り添う授業を目指すために、教師主導の授業で終わってはいけなさと考えています。今日はこれを考えたいんだと子供が課題を見出す力を育てる。そのための仕掛け人として授業を展開する教師の力量を高めることに注力しています。ICT の効果的な活用場面の整理と分析もそのためです。佐竹台小学校の目指す授業像は教職員の中でイメージできるようになっています。これをどう授業実践として具現化していくかがこれからの課題です。」とのことでした。佐竹台小学校の教職員の指導力を磨くための意識の高さを感じます。



1月25日には、佐竹台小学校との共催で、筑波大付属小学校教諭 夏坂哲志先生を講師に、授業づくり研修を実施しました。

夏坂先生は、ICT によって引き出せる学習効果について教えてくださいました。一部分の提示で全体を推測させることができる効果や、思考の結果でなく思考の軌跡を見せる効果、ICT だから可能な展開等を、授業と講話をとおして示されました。様々な活用例を提供しながら、講話の終わりにこのように話されました。

「ICT を使うための授業ではなく、明確なねらいがあり、それを果たすための活用でなければなりません。また、ICT 活用の効果は、ICT の特性を理解して初めて可能となりますが、そのために大切なことは、やはり使って試すことを繰り返す以外にないのです。」

ICT 活用のエキスパートである夏坂先生の助言を受けながら、研究を進めていく佐竹台小学校の研究成果報告に期待が膨らみます。



研修ピックアップ



【研修番号】150

【日 時】3月2日(金) 16:00～17:00

【場 所】吹田市立教育センター 第1会議室

【研 修 名】授業づくり研修

「校内研修の活性化にむけて～手引を活用した校内研究授業の取組～」

【講 師】吹田市立教育センター 調査研究グループ 校内研修活性化研究 研究員

【研修について】

校内研修活性化のために2年間研究に取り組んできた調査研究グループによる研修です。先月行われた研究報告会でも発表した、校内研究授業を進めるための「手引」について、どのように活用したらいいのかを具体的に説明します。「校内研究のリーダーになったけれども、どのように推進していけばよいか分からない。」「校内研究授業のあり方をもっと深めていきたい。」「教職員の授業力向上のためにはどのような取組を推進していけばよいか。」などの悩みに、お答えします。各校での校内研修活性化のために、たくさんの先生方の参加をお待ちしています。

2・3月の教職員研修予定

講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
初任者研修 フレッシュ研修 (新規採用 教職員研修)	41	吹田市研修閉講式 「2年目に向けて」 「児童・生徒への指導の実際」 グループ協議等 吹田市立教育センター 所長 大江 慶博 所長代理 岡本 公助	教育センター 研修室 他	3月26日(月) 14:00～17:00	小・中学校初任者教員 新規採用養護教諭 新規採用事務職員 新規採用幼稚園教員
ステップアップ研修	59	1年間の実践報告 吹田市立教育センター 指導主事等	教育センター 研修室	3月5日(月) 15:45～17:00	平成28年度 小・中学校初任者教員等
教科・領域別研修	127	中学校英語科研究授業・研究協議 豊津西中学校 指導教諭 吉田 昌司	豊津西中学校	3月1日(木) 14:30～17:00	中学校教職員 ※中学校英語担当者会を兼ねる
	123	ICT機器を活用した外国語活動における授業づくり研修(仮) 千里丘北小学校 指導教諭 佐野 彩子	千里丘北小学校	2月28日(水) 15:30～17:00	小学校教職員
	124	小学校外国語教育に係る新教材について	教育センター 視聴覚室	3月5日(月) 16:00～17:00	小学校教職員 ※小学校英語担当者会を兼ねる
	150	「校内研修の活性化にむけて」 ～手引を活用した校内研究授業の取組～ 調査研究グループ 校内研修活性化研究 研究員	教育センター 第1会議室	3月2日(金) 16:00～17:00	教職員
専門職研修	95	「栄養教職員の授業力向上」研究授業 授業者 千里たけみ小学校 教諭 吉廣 繁智 栄養教諭 柏原 麻由子 助言 吹田市立教育センター 指導主事 西 貴美子	千里たけみ小学校	2月27日(火) 14:30～17:00	栄養教職員

※各講座の詳細は、各学校に送付する実施要項をご覧ください。

3月のさつきらーむ(初任者教員等相談室)は、3月8日(木)、13日(火)です。

申込みは、教育センターまで(校務支援システムTe-Comp@ss 又は 研修申し込みシステムにて)



【所長のつぶやき日記⑨】

まちの玄関口である“駅”は、まちの歴史とともに変遷しますが、大阪万博(1970年)の玄関口として、ニュータウン地区の駅が新聞記事になったことがあります。北大阪急行は、大阪市内方面からの来場者を運搬するために新設された路線で、千里インターチェンジ付近から東方向にカーブし、中央環状の内側(現在の中国自動車道)上を直進して太陽の塔の正面辺りが終着駅『万国博中央口駅』だったというものです。(ちなみに吹田っ子の私は千里丘陵が万博に変わっていく姿を見ながら育ちました)

また、阪急千里線の北千里駅は、大阪万博が開幕する3年ほど前に開業した“国内初の自動改札駅”

で、自動券売機や自動両替機など、今では当たり前の“自動化”を先進的に取り入れた“都市部における無人駅”を目指した駅でした。“駅”といえば、鉄道駅以外にも多くの駅があります。“道の駅”は、昨年11月現在、全国に1,134カ所あり、1990年前後に各地で創設されたそうで、休憩だけでなく情報・地域連携といった機能が期待されています。他にも“まちの駅・海の駅・里の駅・山の駅・川の駅・森の駅・水の駅・丘の駅・渚の駅・旅の駅・風の駅・村の駅・庭の駅”などがあるそうです。我々教育センターも教職員の皆さんにとっての“学びの駅”になることを目指しています。

